

平成二十年 交通安全青森県民大会

去る十月三十日、青森市文化会館において、「あなたも参加わたしもやります」交通安全の大会スローガンのもと開催されました。

大会では、交通安全功労者表彰が行われたほか、交通安全意見発表もあり、当村から杉山理恵さん（易国間小学校六年）が意見発表しました。
その内容を紹介します。



意見発表する杉山さん

『交通安全死亡事故「0」六〇〇〇日を目指して』

『私たちは、人命の尊さと交通事故の悲惨さを深く認識し、「交通安全風間浦村」を実現するため、道路交通の場に参加するすべての人々と協力し、家庭、学校、職場、地域において交通事故の防止に努めることを誓います。』

これは、六月十六日、風間浦村交通安全死亡事故「0」の日継続五〇〇〇日達成記念大会で私たち易国間小学校五・六年生十五人で読み上げた大会宣言です。

私に住む風間浦村では、六月一日に交通安全死亡事故「0」継続五〇〇〇日を達成しました。

青森県内では一番長い記録だそうです。

五〇〇〇日といっても、よくわかりませんが、十三年八月月にわたる記録だそうです。私が生まれる前からずっと続いている記録と聞いて、とてもすごい記録だと思います。

そこで私は、交通安全のために、村でどんな取り組みが行われているのか調べてみました。

風間浦村では、村民あげての交通安全街頭指導が、全国交通安全運動期間にあわせて行われています。私たちも鼓笛隊パレードを行います。

このパレードには役場の人達や交通安全母の会の人達が参加し、みんな交通安全を訴えます。また、お年寄りや子どもたちが夜間の事故防止に役立てるための反射材の毎戸配布や防災無線での広報活動などを実施しています。

そのほかにも、交通安全協会ではカーブミラーの清掃や交通安全の旗をたてています。

学校では、春に集団下校訓練があります。地区ごとに一年生から六年生までの集団で下校します。大間警察署の方々が教えてくれる交通安全教室は、自転車乗り方について勉強します。正しい自転車乗り方、合図の仕方などを丁寧に教えてくれます。交通安全についての標語も作りました。PTAの方々が、標語の看板を道路わきに立ててくれました。

これらのことを調べてみて、私たちが安全に通学できるように、警察署の方や役場の方、地域の方が色々な場所で色々な努力をしていることがわかりました。そのおかげで、私たちは、交通事故にあわずに安全に暮らしていると思います。

ふと自分のことを考えてみると、私は、車がきているのに、まだ大丈夫だと思つて飛び出してしまふことがあります。自転車に乗ると、スピードを出し過ぎてしまつたり、車通りが少ないところでは、真ん中を通つて車の通行の邪魔になつたりもします。

警察の方や地域の方が、いくら頑張つても、自分たちが気をつけなくとも意味がありません。風間浦村のみんなが、交通安全のために努力していることを忘れないようにしましょう。

そして、いつまでもこの記録を続けていけるよう、私たちも一緒に頑張って頑張りましょう。

そして、いつまでもこの記録を続けていけるよう、私たちも一緒に頑張って頑張りましょう。

交通安全宣言

平成20年10月30日
交通安全青森県民大会より

交通事故は、尊い人命を瞬時に奪い去ります。犠牲者の無念さはもとより、その家族や関係者の悲しみは計り知れません。また、交通事故を起こした運転者も、一生償わなければならない大きな責任を負うことになり、その家族も辛い負担を背負うことになり、一生懸命に生きていくことが難しくなります。交通事故は、自分自身や家族にいつまでも懸念をもち、一生懸命に生きていくことが難しくなります。交通事故は、自分自身や家族にいつまでも懸念をもち、一生懸命に生きていくことが難しくなります。交通事故は、自分自身や家族にいつまでも懸念をもち、一生懸命に生きていくことが難しくなります。

- 子どもと高齢者を交通事故から守ります。
- 全ての座席でシートベルトとチャイルドシートを必ず着用します。
- 飲酒運転は、絶対しません。させません。
- 夕暮れ時の早めの点灯を励行します。